



第37回 今を生きる子どもの絵展

永年保存作品制作者名簿／作品介绍



第37回(令和5年度)「今を生きる子どもの絵展」永年保存作品155点を展示します

日時 令和6年3月8日(金)～5月31日(金)

9:00～17:00(最終入館午後16:30)

※4月7日(日)までは無休、4月8日(月)からは平日のみの開催となります

会場 信濃教育博物館 長野市旭町1098 信濃教育会館内 入場無料

かけがえのない子ども時代を生きている子どもたちの作品は、好きなもの、ワクワクしたできごと、楽しかった思い出、想像の世界など、自分の今を表す多様な世界であふれています。どの作品からも対象との素敵な出会い、探究する楽しさ、新たな発想を思い付いた喜び等を感じることができます。展覧会会場に制作した本人がいたならば、どんなことを語ってくれるのでしょうか。きっと「これはね…」といろいろなエピソードが聞こえてくることでしょう。

作品をとおして、子どもたちが自由に表現できる平和の尊さを深く感じていただけたらと願っています。

信州子ども絵画100年館本部委員会 委員長 徳高 博樹

令和5年度「今を生きる子どもの絵展」永年保存作品制作者名簿（155名）

小学校1年生

甘利明日輝（小諸市・東小）	西村 和香（下諏訪南小）	小平 隼也（明北小）	吉田 丞玖（真島小）
田中陽美也（和小）	有賀 美月（南箕輪小）	北村 羽空（小谷小）	朝倉 詩織（芝沢小）
関口 悠琉（傍陽小）	小林 桃嘉（阿智第三小）	清水美莉愛（信州新町小）	
窪田 那星（神科小）	古畑 晴陽（開田小）	長岡 和穂（安茂里小）	

小学校2年生

小林 旬（佐久城山小）	熊谷 颯将（大下条小）	朝日 美月（松ヶ丘小）	相澤 長輝（三水小）
柏木 莉沙（美南ガ丘小）	半崎 朝陽（浜井場小）	米山 美莉（青木島小）	齊藤 柊満（岡田小）
伊藤 颯介（中川西小）	山口 桃葉（塩尻西小）	下山 拓生（青木島小）	愛川 椋子（芳川小）
竹松 沙菜（伊那小）	山岸 詩（穂高南小）	星野 結哉（古里小）	

小学校3年生

武田 昇真（岸野小）	徳村 壮真（諏訪市・豊田小）	山越 結遥（塩尻東小）	田口 愛夏（小川小）
植草宗之介（佐久城山小）	上沼 夕菜（中川西小）	宮下 晴（豊科東小）	大和 明弘（塩崎小）
飯田 佳澄（北相木小）	白鳥 晴香（箕輪中部小）	安倍 瑞樹（会染小）	倉島 昊大（東条小）
滝沢 元斗（上田市・南小）	早川 心（阿智第三小）	吉澤 晟（栗ガ丘小）	
渡辺 咲希（境小）	菊池 奈苗（桔梗小）	澤田 心音（泉台小）	

小学校4年生

坂本ラオラトゥ（御代田南小）	後藤 陸（辰野西小）	湯本 英寿（山ノ内町・南小）	小野 唯花（青木島小）
依田 響也（坂の上小）	唐木 新（伊賀良小）	大坪 伊織（安茂里小）	半田 長門（信里小）
成澤 陽菜（美南ガ丘小）	土屋 勇人（山本小）	中島 梨緒（芹田小）	勝田 有美（開智小）
伊東 快晟（金沢小）	阪井 結珠（広丘小）	古清水 輪（三本柳小）	
高島 桃佳（高遠北小）	宮崎 美怜（屋代小）	北條 結柳（古里小）	

小学校5年生

福本 莉々（御代田南小）	宮坂 怜（小井川小）	堀口 結菜（広丘小）	寮 知絵子（古里小）
滝澤 はな（白田小）	平澤 知佳（東春近小）	藤川 紗綾（屋代小）	北原 実桜（古里小）
吉澤 結良（北小）	松田 麓人（赤穂小）	平山 優（栗ガ丘小）	久保 匠充（旭町小）
丸茂 透大（玉川小）	大原 梨未（中川東小）	中島 紗夜（真島小）	
米山 愛桜（下諏訪北小）	窪田 蒼天（龍江小）	米山 春吾（昭和小）	

小学校6年生

今井 小枝（御代田南小）	向山 花音（高遠小）	峰田 要（穂高西小）	寺嶋 柚乃（浅川小）
西澤 生織（野沢小）	鈴木 丞（赤穂小）	鳥井菜々美（豊科東小）	藤原 沙帆（山王小）
荒井 悠（豊殿小）	北原 夢菜（新山小）	泰間 沙南（白馬北小）	上原 鉄生（長野市・吉田小）
伊藤 真優（湖南小）	林田 茉桜（飯島小）	下島 蒔（中野小）	
山岸 蓮（湊小）	北原 咲花（桔梗小）	村越 惟吹（飯山市・東小）	

中学校1年生

宇佐美百花（芦原中）	伊東 真由（箕輪中）	浅川 紗良（豊科北中）	高橋 希（櫻ヶ岡中）
木下 結（軽井沢中）	雨宮 実花（西箕輪中）	江口 悠太（松川村・松川中）	西川 菜（丸ノ内中）
柳澤 幸亜（軽井沢中）	赤羽 結杏（辰野中）	和田 妃那（更埴西中）	遠藤 美遥（菅野中）
小松 詩愛（原中）	熊谷 樹（飯田西中）	佐藤 玄成（城南中）	
ダコスタ春美（永明中）	佐藤 遙乃（広陵中）	高橋 理彩（西部中）	

中学校2年生

白川 新（芦原中）	登内 実弥（伊那中）	加藤 樂多（三郷中）	倉地 亜桜（波田中）
松井 茜（第二中）	原 芽吹（西箕輪中）	杉浦 幸來（大町中）	高橋 莉子（菅野中）
熊井 美優（塩田中）	片桐優万里（飯田西中）	山本 莉子（小布施中）	
竹内 彩音（永明中）	清水 雲文（売木中）	竹内サヤカ（墨坂中）	
保科 蘭々（諏訪西中）	征矢野莉子（日義中）	加藤 維（才教学園中）	

中学校3年生

斉藤 麗（芦原中）	関 香里奈（東御市・東部中）	吉崎 柚毅（広陵中）	栗山 雄太（旭町中）
竹内 絢香（芦原中）	井刈 花音（諏訪西中）	向山 修加（穂高西中）	佐野 鴻志（菅野中）
土屋 心音（芦原中）	五十嵐理桜（駒ヶ根市・東中）	山岸 梨鈴（南宮中）	中原 伶南（梓川中）
牛谷 妙（軽井沢中）	林 楓（緑ヶ丘中）	池田 幸生（高社中）	羽生田紗希（女鳥羽中）
工藤 凜（塩田中）		古旗 優妃（梓川中）	

永年保存作品155点の中から各学年1点をご紹介します。

①いちばん描きたかったことは何ですか
(どんな場面に心が動いてこの絵を描いたのか)

②いちばん工夫(苦勞)したところはどこですか

評：審査員の講評



「深海でひかっているにじいろのたこ」
関口 悠琉(傍陽小学校1年)

- ①生きものがすきです。まだ誰も知らない生きものが深海にいたらおもしろいなあと思って描きました。
- ②たこのいろいろななまようをていねいにがんばって描きました。生きものもたくさん描いて楽しくしました。

評 カラフルなたこに目が釘付けになります。背景の暗い青があることで深海の感じがよく出ていますし、主役のたこを引き立てています。周りの魚たちもどこか楽しそうです。

「深海に住むかい物」
植草 宗之介(佐久城山小学校3年)

- ①はじめに描いたにじみを色々な角度で見たら、タコに見えたから、海底に住む怪物のタコの物語を描きました。
- ②深海の様子を表現したくて、白クレヨンと色のにじみを活かして、岩や魚の模様、タコの目を工夫しました。

評 深い海の様子がモダンテクニックによって鮮やかに表現されています。まだ見ぬ生き物を見つけられそうな期待がふくらむ作品です。



「カニさん二人たのしいな」
熊谷 颯将(大下条小学校2年)

- ①飼っていたカニさんを見ていたら、2匹で楽しそうに遊んでいました。なかよしの様子を版画にしました。
- ②人間の指のかんせつみたいにかニの足のかんせつがわかるように細かく作り、貼り合わせたとこです。

評 2匹のカニの重なりが立体感を生み出し、ローラーで表現した川の流りにカニの黒が浮かび上がる力強さを感じます。楽しそうに鬼ごっこをしている様子が伝わってくる作品です。

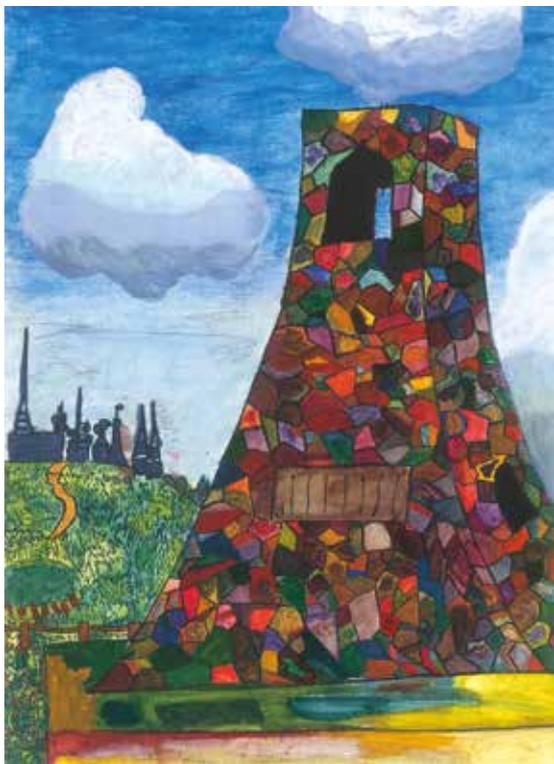
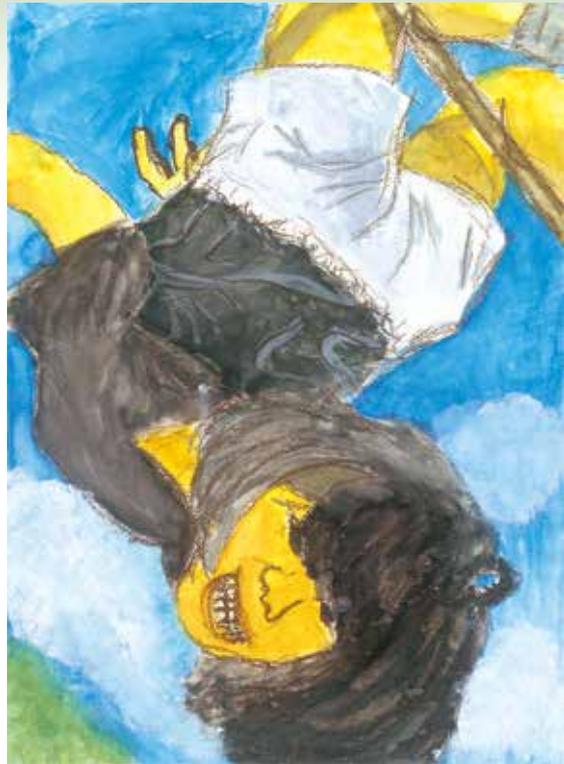


「青空にゆれる」

勝田 有美（開智小学校4年）

- ①鉄棒の「こうもり」という技をやるところを描きました。さかさになっている不思議なところを出したかったです。
- ②服のしわや雲は、自然に見えるように、たくさんぬったり、他の色を混ぜたり工夫しました。

評 まず構図の面白さが目を引く作品です。鉄棒にぶら下がって大きく仰け反る背中。その後ろに広がる空の爽やかな青が、少女の笑顔を力強いものになっています。



「すんだ青空の下にたつ美しい塔」

久保 匠充（旭町小学校5年）

- ①5年生の美ヶ原登山の思い出を、色あざやかな美しい塔で表したかった。すんだ青空の感じも出したかった。
- ②美しい塔の石のの一つ一つを、同じ色が重ならないように丁寧にぬりました。

評 地元のシンボリックな塔に思いを寄せ、すんだ空にそびえ立つ様子を下から見上げる構図で表しています。たくさんの色を配置し、力強く着色された塔は迫力がプラスされています。

「秋の青空と善敬寺」

上原 鉄生（長野市立吉田小学校6年）

- ①自分が生活する小学校のもととなった善敬寺と、秋の青空を合わせた景色に心をひかれたので、描きました。
- ②濃い色、薄い色など、様々な色を使い、光と影にこだわって奥行きを出すことをがんばりました。

評 寺社の境内を見上げるように描いた構図、遠近の表し方から迫力のある作品となりました。歴史を感じる境内を表すため、色を重ねて重厚感を出しました。抜けた青空は秋の寒さを感じさせます。





「夏の夕暮れに秋のおとずれ」
佐藤 遙乃（広陵中学校1年）

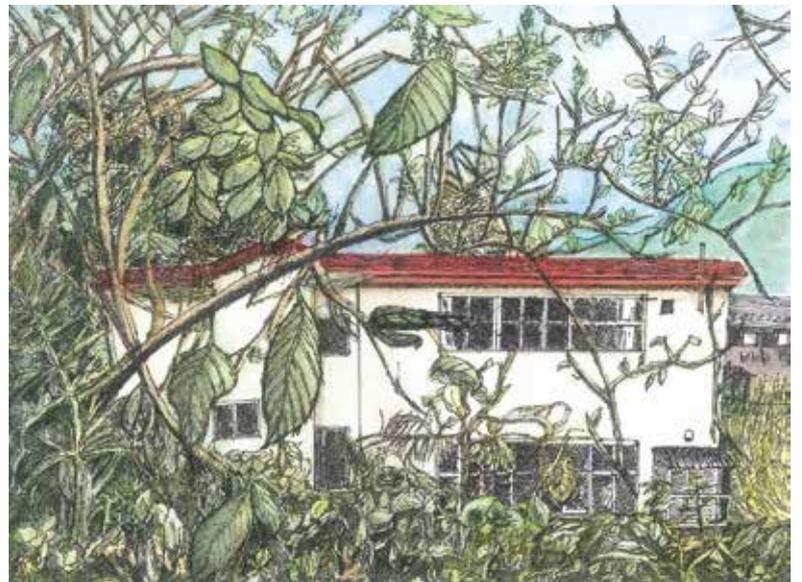
- ①初めてひとりで遠出した日、すぐそこまで来ていた秋に、夏休みの終わりが近づく寂しさを感じて描きました。
- ②座り込む私の視線を表現する工夫をしました。遠近感を出すために色を使い分け、近くをより細かく描きました。

評 色彩豊かに自然の風景が描かれています。木々や葉の緑色、雲の色など複数の色を取り入れることで、全体的にとっても見応えのある作品になっています。

「探し求めた風景」
原 芽吹（西箕輪中学校2年）

- ①ふいに小さな木の下をのぞいてみたら、私だけが知っている秘密基地みたいで、この瞬間を描きたいと思ったから。
- ②雑草を光と影を使い分けて描いたところ。葉のすき間から差し込む光で臨場感を表したいと思いました。

評 手前の葉っぱ一枚一枚に躍動感があるため、奥にひっそりたたずむ校舎が一層引き立ちます。また、これでもかというくらいのペンのタッチが魅力的。探し求めた風景のいいところが伝わります。



「DAYBREAK FRONTLINE」
土屋 心音（芦原中学校3年）

- ①歌詞に込められた「進め」というメッセージを伝えたいと思い、開放感のある幻想的な絵を描きました。
- ②逆光で暗くなる踏切の光と影の表現、魚眼レンズで覗いたような歪みとローアングルの構図にこだわりました。

評 空の色のグラデーションが美しく、蝶、山、踏切の黒色によく映えています。様々な技法を使い、低い視点からの夕方の風景が幻想的に描かれています。



中央審査を終えて

● 小学校1・2年生 本部委員 西澤 しのぶ (山王小学校)

虫たちが楽しそうに運動会をやっている様子を絵日記に記録するかのよう生き生きと描いた絵や、自分がドラゴンに乗って旅行している様子を想像し表情豊かに描いた絵など、無限に広がる自分の空想の世界を表現することに喜びや楽しみを感じるのが1・2年生だと思います。

力強く勢いのあるクレヨンのタッチ、今にも動き出しそうなモチーフなど、多くが意図せず偶然に生まれた表現です。描くものに対する感動や想いが、真っ直ぐな気持ちと共に紙の上に溢れ出てきています。どの作品も発想豊かで、低学年らしい素直な表現に心が惹かれました。



● 小学校3・4年生 本部委員 久保田 充徳 (広徳中学校)

小学校3・4年生の作品は、自分たちで育てた「ヒマワリ」や「ヘチマ」など自然をモチーフにした作品が多く見られました。「ヒマワリ」の作品の中には花びらの部分に様々な色の色紙を貼ってコラージュするなど表現を工夫した作品も見られました。その他には「動物城」や「恐竜」「ジャングル奥深くにある花」などの空想の世界を描いた題材に挑戦した作品もあり、題材も幅広くなってきました。どの作品も細部まで丁寧に表現され、またコラージュやスパッタリングなどの技法を活かした作品も見られ、とても楽しく図画工作に取り組んでいる姿や気持ちが伝わってきました。

● 小学校5・6年生 本部委員 青木 香織 (川中島中学校)

思い入れのある場所やモチーフを一筆一筆、丁寧に描き進めていく子どもの様子が目に浮かぶ。5・6年の題材は多岐に渡っていたが、伝統的な題材である「ランドセル」や「写生会の絵」も健在であった。審査をしていて感じたのは、児童たちの目線の変化だ。「ある瞬間」を捉えた絵やトリミングして描いたような印象に残る構図が目立った。その子どもがこの絵の何を描きたかったのか、何が気に入っているのか、表したかった思いは何なのか、一つ一つの絵について教師たちがよさを語り合えた審査会であった。

● 中学校1・2・3年生 本部委員 長崎 至宏 (古里小学校)

「これを描きたい!」「こんなふうに描きたい!」描きたいテーマとそれに用いる画材、そしてそこに表れる自分らしさ。出品されたどの作品からも、それぞれに伝わってくる圧倒的な熱量を感じることができました。中学生の皆さんの作品は、授業で扱う8つ切りサイズの場合も多いのですが、色を工夫し構図を工夫し、「こんな小さな画面には収まらないよ!」と言っているような、広く深く、大きな世界が表されていました。それは、小手先で表されたものではなく、描いた作者本人の確かな力によるものだと思います。

子ども絵画を授業で活用しませんか?

博物館に収蔵されている作品の貸出しを行っています。

目的にあった作品をお選びいただき、写生会や授業の参考資料にお役立てください。



お問合せ先
信濃教育博物館 TEL 026-235-1608 FAX 026-232-1892